

ひとりから

子ども会情報紙『ひとりから』

発行日/2019年3月1日

発行/真宗大谷派(東本願寺) 青少幼年センター
〒600-8164 京都市下京区藤訪町通六条下る上柳町199
TEL: 075-354-3440 FAX: 075-351-9599
E-mail: oyc@higashihonganji.or.jp

日豊教区
光西寺の子ども会

新教材の お知らせ

蓮ちゃん通信 その①

はなびら

東本願寺キャラクター葩

葩の表面にはキャラクター、裏面には「ちかい」やメッセージ欄があります。ひとことを添えて子どもたちに手渡してみませんか？

【価 格】
500円(30枚+おまけつき)

東本願寺 キャラクターシール

子ども会や日曜学校の出席カードに貼れるサイズのキャラクターシールとお名前シールです。夏休みのお寺でのラジオ体操の出席シールなど、様々な場面でご活用ください♪

【価 格】1枚100円

出席カードは、
こちらからダウンロード。

東本願寺 青少幼年センター

検索

【葩・シールの申込先】 青少幼年センター TEL.075-354-3440

子ども会で大切にしたいこと

青少幼年スタッフ ^{さがら} 相良 ^{よしがす} 義和

子ども会を年四回開くようになり六年が経ちました。出遇った頃は幼稚園に通っていた子どもたちが小学校の高学年になり、体つきや声も変わっていることに最近驚かされます。時に失敗しながら、時に親御さんに手伝っていただきながら現在まで続いています。

さて、私が子ども会で大切にしていることは、

① 最初にお勤めをする

② 会の終わりにには本堂に戻り、仏さまにごあいさつして会を閉じる

この二つです。要するに、始まりと終わりは仏さまに手を合わせるということです。当たり前かもしれませんが、このことだけは必ず行うように心がけています。仏さまに手を合わせるという、不変(常)の姿を通して、私たちの姿が常に変化していく(無常)ということを教えられているのだと思うからです。

それは同時に、その子ども会が、二度と経験することの出来ないかけがえない場であることを知らせてくれる、そんなことを教えられているように感じます。

次は四月のはなまつりです。子どもたちがどんな姿でやってくるか、楽しみですね。

わたしは何でいきなりくるの？

三重教区 狐野 やよい

『くまの子ウーフ』(神沢利子・文、井上洋介・絵、ポプラ社)という幼年童話があります。ウーフという名のくまの子が、毎日のくらしのなかで不思議に思ったり、感じたりした話がいっつか入っています。その中で、「ウーフはおしっこでできているか?」という話をしたいと思いません。

それはこういう話です。あるあや、ウーフはお母さんがつくってくれたごはんをたべていました。その目玉焼きをみて、たまごが白身と黄身でできていると気がきます。すると、自分のまわりのものが何でできているか急に気になりました。そこに、一緒にいたお父さんが、スプーンはステンレスでできているとか、イスは木でできていると、いろいろなことをウーフにおしえてくれました。それでうれしくなったウーフはともだちにおしえようと出かけていききました。

すると、今朝たまごを産んでくれためんどりに会います。めんどりは、たかさんのたまごでできているんだと思つたウーフは、きつねのツネタくんにそのことをはなすや、「それじゃあ、ウ

ーフはおしっこをするから、おしっこでできているんだ」と言われます。そんなことを言われて、くやしくなったウーフですが、言いかえせず「自分は何でできているか」を考えるのです。ころんで血がでたり、なみだも流せるとしたウーフは「ウーフはウーフでできている」とうれしそうにいったのです。

子どもたちと聞く法話

「ほくはしなない なぜならほくはじぶんじしんだから」という詩を書いた十二歳の男の子が、その言葉をのこして自分でいのちを断つてしまいました。とても悲しいことでした。「自分は自分でできている」という言葉は、いろんなしらがみやきまりごとから、自由になったということです。人間はみな平等で、独立した一人の人間として何にでもなれる自分であることを知ったのです。ところがそこに落とし穴がありました。

私はだれの助けもかりず、人に迷惑もかけないで生きているのだと、毎日をすごしています。ですから何の問題もなく日々をすごすのは、あたりまえのことなのです。しかし、思いがけないことがおこるとうろたえてしまいました。じつはそのことが、何でも思い通りにできる「自分」というものはないのだということをおしえているのです。それは自分の身体をみればわかります。若くて健康で、自分の思い通りになる時には、まったくわかりませんが、年をとったり、病気になったり、けがをしたりすると、この身体は自分の思い通りにならないとわかるのです。

私たちが念仏もつす「南無阿弥陀仏」は、この身体に呼びかけられているのです。阿弥陀仏は私がたった一人ここに存在しているわけではないことをおしえてくれます。南無は深くうやま

うことですが、ふりかえってみれば、その阿弥陀仏の呼びかけにまったく気が付かず調子に乗って、いい気になっている自分を見せつけてきたさるのです。その南無こそが、自分が自分になる瞬間であり、自分以外のものにならなくていいということです。だから、こう言いたいです。「わたしは、南無阿弥陀仏でできている」と。

蓮ちゃん通信 その②

「子どもたちと聞く法話」を朗読でお届けします♪



しんらん交流館ホームページにて創刊号よりご好評をいただいております「子どもたちと聞く法話」の朗読の配信が始まりました。ぜひお聞きいただき、さまざまな場面でご利用ください♪



しんらん交流館ホームページ URL:<http://jodo-shinshu.info/>

外でおもいきり飛ばしてみよう!!

パチンコ式かみひこうき

ゴムの力でかんたんに遠くまで飛ばせるかみひこうきです。
少し厚手の紙でしっかり作れば飛行距離も伸びますよ!

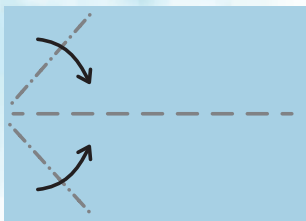


用意するもの

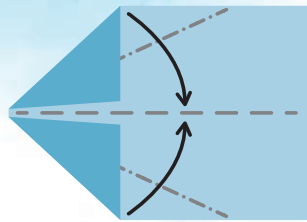
- ①厚手の長方形の紙(色画用紙でもOK) A3くらいが最適
- ②わりばし ③輪ゴム ④セロテープ ⑤ホチキス

※厚さや大きさを飛び方も変わります。いろんな素材で挑戦してみましょう!

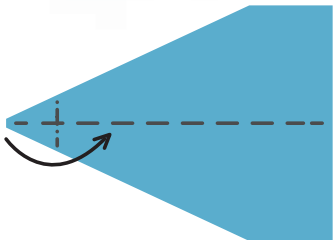
1 中心に向かって折ります。



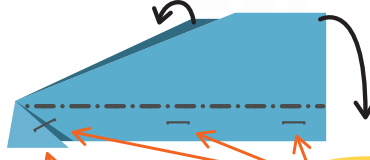
2 もう一度、中心に向かって折ります。



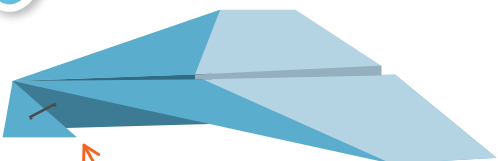
3 裏返して先の方を折ります。



4 半分に折りあげます。



5 羽になるように折ります。



これがゴムのひっかけの部分になります

完成!!

広い所で飛ばしてみよう!!

さらに

羽の両側を上折ったりしてもおもしろいよ!!
いろんなかみひこうきをためしてみよう!!



輪ゴムを2つつなげてもよく飛ぶよ。

まず...
わりばしの先に輪ゴムをテープで止めておこう!!

かみひこうき作りの参考に!

『かみひこうき』

小林 実 ぶん
林 明 子 え
(福音館書店)



1973年初版のロングセラー。子どもたちの創作意欲をかきたてる楽しい1冊です。かみひこうきを作る前に子どもたちと一緒に読んでみるのもいいですね。



予告 紙芝居講習会

蓮ちゃん通信 その③

お寺の子ども会で思いっきり楽しめる紙芝居の講習会です。当日は、紙芝居の販売も行います。ぜひおこしく下さい。詳しくは、真宗4月号をご覧ください。



開催日 2019年6月25日(火)

会場 しんらん交流館

講師 沼 秋香氏 (大垣教区長勝寺)

「ひとりから」はじめる仏事

子どもたちに
伝えてみませんか？

※大正時代、本山社会課から『児童と宗教』という児童教化の指導者のための雑誌が発刊されていました。そこには、先輩方が遺してくださった遺産がたくさん。このコーナーでは、そこに連載されていた「教案」から、私たちの生活の中の仏事に関するものをサガエさんがリライトしてお届けします!!

※本山社会課…社会と寺院をつなぐべく初めて派内に設置された宗務組織。宗派の青少年教化を担っていた。

く か 供花

ある供花の物語から

慎ましく貧しく生活しているひとが、一本の花をみ仏様にお供えしたところ、長い間、しあわせの功德をいただきました。

また、牛追いをして暮らしていたひとが、道端に咲いた花をみ仏様にお供えしたところ、大切な功德をいただいたという物語があります。

お花でお浄土

花の美しさ、実にその形・色・香りはひとのこころを和ませてくれます。お内仏は、お浄土

の世界だといわれます。それは、お花で荘厳しょうこんされ、お燈明どうみょうが灯され、実に満ち足りたすばらしい世界です。

お花は枯れる

お供えした花は、枯れないように水を注したいものですが、時間が経てばいつかは枯れます。そのことで、「いのち」あるものは永遠ではない、ということをお大切な教えとして学びましょう。

出典：幡谷淳信「三月教案」供養
『児童と宗教』3巻3号より、一部抜粋、現代語訳
リライト：“サガエさん”こと佐賀枝夏文

ボクはこんな風に話してみました



さ が え なつふみ
佐賀枝 夏文
(大谷大学名誉教授)

「お内仏」にお花をお供えするのはね、お花の美しさが、お浄土の世界を意味しているからなんだ。お供えしてあるお花を見ると、お浄土の世界を思い描いてみると、すてきだね。また、牛追いの供花の物語、すてきなんだ、読んでみるといいよ。

※牛追いの供花の物語は、上記出典を参照してください。

新コーナーの活用例

- ① 本文「供花」をそのまま覚えて話す。
または、ご自身の表現で話す。
- ② プリントして配布し、朗読する。
上記以外にもその場に合わせてご活用ください!

本文のPDFデータは、青少年センターホームページ「子どもとあそぼう」のコーナーからダウンロードいただけます。

◎「ひとりからはじめる仏事」では、回数「お荘厳」に「し」を取り上げます。「お荘厳」はお浄土の世界、仏さまの教えが説かれています。子どもたちの観察力の鋭さこのコーナーを手がかりに、今一度「二切荘厳皆説法」ということを考えてみたいと思います。(編集長 池崎方子)

◎青少年センターに着任してもうすべい1年になり、2度目の春を迎えようとしています。3月は卒業、4月には入学式や新たな学年への進級があり、それぞれ新たな歩み、生活がはじまります。その歩みの中では不安もあることだと思えます。私自身もその不安を抱えたりします。不安を抱えながらも、ともに歩んでいくことのできる、そんな出あいや関係を日々の生活の中で築いていきたいと思えます。(青七幹事 山崎裕太)

編集後記



真宗大谷派の青少年教化の情報をお届けします。

<https://www.facebook.com/oyc.hitorikara/>

※facebookの個人アカウントをお持ちでなくてもご覧いただけます。

●真宗大谷派(東本願寺)青少年センター TEL.075-354-3440

青少年センターホームページ

東本願寺 青少年センター

検索

ぜひ、ご覧ください!!